

# 宮崎市郡医師会病院

## ■ 病院の概要

■ 病院長	川名 隆司
■ 所在地	宮崎市新別府町船戸 738-1
■ TEL	0985-24-9119
■ 研修実施責任者	柴田 剛徳
■ 病床数	248 床
■ 年間入院患者実数	6,999
■ 一日平均外来患者数	60.7
■ 救急取扱患者数	1,488



(平成 29 年度実績)

## ■ 研修受入診療科

救急科、内科、外科、整形外科、産婦人科、心臓血管外科、麻酔科、循環器内科

## ■ 研修施設の特徴

宮崎市郡医師会病院は、昭和 59 年 4 月に会員の紹介入院を主体にした共同利用施設・開放型病院として開院し、以降、会員（開業医等）との密接な連携を図りながら、地域の基幹病院として急性期疾患を中心とした医療を担っております。平成 9 年 3 月に地域災害拠点病院に指定され、平成 10 年 12 月には地域医療支援病院の承認を受けました。また、平成 13 年 10 月には緩和ケア病棟を新設しました。平成 20 年 4 月には地域周産期母子医療センターとして認定されました。

現在は 2020 年の移転建替に向け準備をしており、さらなる市民・県民の皆様へ高度で良質な医療を提供できる医療機関を目指しております。

## ■ 研修症例および指導体制の特徴

### < 救急科(救急総合診療:ER) >

#### 【研修症例】

当科は一次・二次救急医療を主軸とした救急医療を行います。研修の目標は、緊急度と重症度を判断できること、一般的な症候から鑑別診断を行う診断技術を身につけること、医師として身につけておくべき基本的な初期治療を身につけることの 3 つを掲げます。研修は救急外来や夜間急病センターで行い、入院患者の管理も担当します。

#### 【指導体制】

救急科では 2 人の救急科専門医が指導します。毎日、簡単なポートフォリオを作成し、その日に経験した症例を振り返り、ミニレクチャーを行います。シミュレーションを中心とした蘇生講習会を行い、JATEC や ICLS 等を習得して頂きます。宮崎大学解剖学講座の協力で臨床解剖実習を行います。シミュレーターでは体験できないリアルな環境で、気管挿管や CVC 確保、胸腔ドレーン挿入等、救命処置に必要な手技を詳細に学習してもらいます。

## <外科>

### 【研修症例】

年間手術件数は 400-500 件前後で推移しており、消化管及び肝胆膵の良悪性疾患のみならず、急性期疾患の受け入れも多く、消化管穿孔や急性虫垂炎、腸閉塞など腹部救急疾患の手術症例も多数あります。当科では内視鏡診断・治療も積極的におこなっており、特に消化管出血に対する止血術、消化管ポリープ切除術、大腸癌イレウスに対するステント留置、総胆管結石の内視鏡治療、悪性胆道閉塞の閉塞性黄疸に対する減黄術、感染性膵嚢胞に対する超音波内視鏡下内瘻術など多岐に行っております。

### 【指導体制】

研修の基本は臨床実地の場で消化器外科の診断から治療までを一貫して行う事が出来る知識と経験を積むことであり、具体的には的確な病歴聴取と身体診察等による鑑別診断を行い、超音波検査・腹部 CT 検査・内視鏡検査による確定診断と治療を行います。各種の手術治療の経験、化学療法の立案と実施、手術は助手としての経験を可能な限り積んでもらい、その後は術者として執刀できるように指導していきます。

## <整形外科>

### 【研修症例】

当科は年間 800 例以上の手術を行っており、県内では宮崎大学に次ぐ手術件数です。当院は医師会会員からの症例が多数を占め、また地域医療の中心であるため幅広い分野に対応していますが、特に急性期疾患、四肢外傷症例が多数を占めます。その中でも骨折の手術件数は全国でも TOP20 に入っており、骨折の中でもっとも手術が行われている大腿骨近位部骨折においては常に TOP3 に入る実績があります。

### 【指導体制】

四肢外傷の症例が多数を占めるため、医師として必要な外傷初期の対応を学べます。例えば、固定の仕方、ギブスの巻き方、画像の読み方（骨折、脱臼の有無）、脱臼や骨折の整復の仕方、創の管理などが学べます。手術も毎日、朝から夕方まで行っていますので、その手術に入ることでメスや鉗子の使い方、縫合の仕方などの一般的なことから骨、筋腱、神経、血管などの整形外科的解剖、インプラントの固定の仕方等を学べます。また骨折の症例は高齢者が多く、多数の合併症を有しているためそのような症例の周術期管理も学べます。研修医の先生方が整形外科に興味を持っていただければ幸いです。その他の道に進んだとしても当直などで外傷症例に対して、最低限の対応ができるようなスキルを身につける事が出来るようになると思います。

## <循環器内科>

最新の医療レベルで助けられるはずの命がこの地域でも助けられるよう、地域差を感じさせない質の高い医療を目指しています。特に、救急医療に力を注いでおり、循環器疾患として、狭心症・心筋梗塞（急性期・慢性期を含む）などの虚血性心疾患、弁膜症、成人の先天性心疾患、心筋炎、心膜炎、心筋症、心不全、高血圧性心疾患、不整脈、血管疾患（その他）：高血圧緊急症、解離性大動脈瘤、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、腎血管性高血圧、肺塞栓、下肢深部静脈血栓症、肺高血圧症などを対象としています。沢山のスタッフが在籍しており、教育も充実しています。興味のある先生はぜひホームページを参照ください。

## 指導医・先輩医師からのメッセージ

研修医時代は、やればやるほど新しい知識技術が身につく、ひとつひとつの経験が記憶に残り将来につながる医師人生の中でも特に充実した期間です。沢山の患者さんと出会い、ひとりひとりと真剣に向き合う中で、医師としての基本的な姿勢や知識を得る日々は、必ず将来の姿につながります。宮崎市郡医師会病院は、主に急性期疾患を扱う病院であり、日々の多くの救急・重症患者さんの診療に携わることが出来ます。専門医・指導医の直接指導を受けながら救急での診断や治療、手術といったダイナミックな現場での診療経験を積むことは大きな力となります。また、診療だけでなく学術面でも成果を出しており国内外の学会でも多くの症例発表・研究論文発表の実績があります。研修医として日常臨床現場での実践をスタートする時期、思い切り頑張りたいという気持ちを持っている先生方は是非、一緒に頑張ってみませんか。